国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジネス実務Ⅲ			科目コード	28050302	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2年次	前期	62	4	無
授業の概要・目的	日本で社会人になることを目的とし、そのために必要なビジネスマナーと、就職試験のSPIに向けた基礎学力の定着を計る。 テキストで日本のビジネスマナーを学習し、すららネット日本の中学レベル日本語、数学の習得を目指す。					
到達目標	日本で働くために必要な日本の習慣やマナーについて理解し、実践できる。 就職試験のSPIなどの学力試験に対応できる。					
評価項目	期末試験(85%)、すらら提出率(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	すららの進捗状況も評価を行う。 テキストも単元終了ごとに確認テストを行う。 期末試験はすららネットの内容とテキストの内容の両方から出題する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	ビジネス基礎Ⅰ ビジネス基礎Ⅱ ビジネス実務Ⅳ ビジネス実務Ⅴ ビジネス実務Ⅵ					
授業計画	第1章 ビジネスマナーの基本 第2章 社内のビジネスマナーとルール 第3章 電話のマナー 第4章 応対のマナー 第5章 ビジネス文書の基本マナー 第6章 慶弔・贈答・会食のマナー 第7章 国際ビジネスマナー					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	言語知識 I A			科目コード	28016401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	日本語能力試験 N2 レベル相当の漢字・語彙を習得することを目的とする。 日本人と同等に就職するため、日本人高校卒業程度の漢字を身に付ける					
到達目標	日本社会で働く上で必要なレベルの日本語の語彙、文法を場面や状況に合わせて表現できる。					
評価項目	期末試験(75%), 語彙テスト・確認テスト(20%), 出欠席(5%)					
評価基準	語彙テスト・確認テスト：各授業で行われ語彙テストと確認テストで理解をはかる。 期末試験：N2 レベルの語彙・文法を問うような科目試験を行なう。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	高橋 真実			非常勤講師		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「改訂版 耳から覚える日本語能力試験 語彙トレーニング N2」アルク出版					
関連科目	言語基礎 I A II A 言語基礎 I B II B 言語知識 I B 言語知識 II A II B					
授業計画	Unit1 名詞 A Unit2 動詞 A Unit3 形容詞 A Unit4 名詞 B① Unit4 名詞 B② Unit5 カタカナ A Unit6 副詞 A+接続詞 Unit7 名詞 C Unit8 動詞 B Unit9 カタカナ B Unit10 形容詞 B Unit11 名詞 D Unit12 動詞 C Unit13 副詞 B+連体詞					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	言語知識 I B			科目コード	28016501	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	日本語能力試験 JLPTN2 取得に向けさまざまな話題の長文を読み、文章表現などを理解しながら読解を行う。同時に、感想・意見をまとめ、話す・書くアウトプットを通じた、日本語力の定着を目的とする。またトピックの背景となる素養・語彙も増やし、コミュニケーションができるようになることを期待する。					
到達目標	様々なトピックの読解問題を通して、グループワークで、文章読解力と日本語のコミュニケーション力を身につける。					
評価項目	期末試験(75%), 確認テスト(20%), 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：テキストの読解問題から出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	新完全マスター読解N2					
関連科目	言語基礎 I A II A 言語基礎 I B II B 言語知識 I A 言語知識 II A II B					
授業計画	<p>実力養成編 第2部 広告・お知らせ・説明書きなど</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体をつかむ 2. 情報を探し出す <ol style="list-style-type: none"> 1) 広告 2) お知らせ 3) 説明書き 4) 表・リスト 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジネス文書演習 I			科目コード	28072401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	<p>日本で就職する上で必要な文章力、表現力、会話力身につける。敬語の意味や使い方を学びながら実際の日本のビジネス社会に必要な文章や会話で表現できるようにする。</p> <p>明確なポートフォリオとして学内新聞の発行。</p> <p>また、日本人学科の学生との交流授業で、日本語を理解し、自分の意見や考えを日本語で伝え、グループで発表できるようにする。</p>					
到達目標	<p>日本での就職に必要な文章力を身につける。敬語の意味や使い方を学びながら、日本のビジネス社会で必要な文書を書けるようにする。日本人学科との合同授業において、指定のテーマについてグループワークで意見交換を行って文書を作成し、発表する。</p>					
評価項目	<p>期末試験(95%)、出欠席(5%)</p>					
評価基準	<p>新聞作成の内容、合同授業の発表、文書検定過去問の点数からも評価を行う。</p> <p>期末試験は文書検定4級レベルの問題より出題し、その試験結果により判定し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>文章検 公式テキスト4級</p> <p>文章カステップ3級</p> <p>話す・書くにつながる！日本語読解</p>					
関連科目	<p>言語基礎 I A II A</p> <p>言語基礎 I B II B</p> <p>通訳 I II</p> <p>言語知識 I A II A</p> <p>言語知識 I B II B</p> <p>ビジネス文書演習 II</p> <p>実践ビジネスコミュニケーション I II</p>					
授業計画	<p>第1章 基礎力</p> <p>第2章 読解力</p> <p>第3章 作成力</p> <p>1課 10代のうちに考えておくこと</p> <p>2課 草は生きているか 疑うことが命を知る入り口</p> <p>3課 仕事選び</p> <p>4課 障がいと私</p> <p>5課 フィンランドの学校で</p>					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	CAD 演習 II (2D)			科目コード	28026001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2 年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	JIS 機械製図の手法を説明しながら、簡単な機械要素の製図を通じて、物体表現の方法と 2 次元 CAD の特徴および基本的な操作法を実習によって習得することを目的とする。					
到達目標	2D CAD を使って、実際の業務で通用する図面を読む力、描く力、空間認識力を身につける。					
評価項目	期末試験 (55%)、課題提出 (40%)、出席率 (5%)					
評価基準	課題提出：課題制作の提出により判定し評価する。期末試験：2D CAD の基本的な知識・理解を網羅的に問う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉置 順一			非常勤講師		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献	2025 年度版 CAD 利用技術者試験 2 次元 2 級・基礎公式ガイドブック 日経 BP					
関連科目	CAD 演習 I (3D) CAD 演習 V (2D) CAD 演習 II (2D) 1 年					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 章 CAD システムの知識と利用 2. 第 2 章 CAD システムのプラットフォーム 3. 第 3 章 CAD システムの関連知識 4. 第 4 章 製図の知識 5. 第 5 章 図形 6. 2 級サンプル試験問題 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	コンピュータシステムⅡ			科目コード	28024201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	コンピュータシステムⅠで基本原理や基礎技術について学習した内容を、問題演習を繰り返すことにより理解を深め情報処理検定3級の取得を目的とする。					
到達目標	情報処理検定3級の範囲の基礎を理解し、問題を解くことができる。					
評価項目	期末試験(65%)、確認テスト(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	<p>確認テスト：単元別確認テストで理解をはかる。</p> <p>期末試験：情報処理3級の問題に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	<p>情報処理試験合格へのパスポート</p> <p>コンピュータ概論 (シラバス 9.0 対応)</p> <p>システム開発と情報技術(シラバス 9.0 対応)</p> <p>IT戦略とデータ利活用(シラバス 9.0 対応) ウイネット</p>					
関連科目	<p>コンピュータシステムⅠ</p> <p>コンピュータシステムⅢ</p>					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎理論 2. コンピュータシステム 3. 技術要素 4. 開発技術 5. ビジネスインダストリと法務 6. 練習問題 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	C言語プログラミング演習Ⅱ			科目コード	28021401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	Iで学んだデータ型、標準入出力、制御構造、配列・文字列を利用した文法、記述法を問題演習を繰り返すことにより理解を深めC言語検定3級の取得を目的とする。					
到達目標	サーティファイ主催「C言語プログラミング能力認定試験3級」に合格できる力を養う。Iで学んだプログラミング技術をさらに磨き、学内プログラミングハッカソンで、日本人学科（情シス、情スペ）の学生と同等に勝負できる力を身につける。					
評価項目	期末試験（65%）、確認テスト（30%）、出欠席（5%）					
評価基準	確認テスト：単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験：C言語3級の問題に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	若林 潤一			非常勤講師		
実務経験者による授業	県内システム会社勤務を経てWEBサービス会社の社長COOとして従事した後独立。Webシステムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。					
テキスト・参考文献	C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 サークティファイ 情報処理試験合格へのパスポート Cプログラミング ウィネット発行					
関連科目	Javaプログラミング演習Ⅰ Javaプログラミング演習Ⅱ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 1回目 2. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 2回目 3. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 3回目 4. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 4回目 5. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 5回目 6. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 6回目 7. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 1回目・2回目抜粋 8. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 3回目・4回目抜粋 9. C言語プログラミング能力認定試験 3級過去問題集 過去問題 5回目・6回目抜粋 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	プレゼンテーション技法			科目コード	28051601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	キャリア実習 I で経験してきた内容を、外部向けに powerpoint を用いてスライドを作成し、発表を行う。					
到達目標	PowerPoint を使用してスライドを作成し、キャリア実習報告会で発表ができるようにプレゼンテーション力を身につける。					
評価項目	実技(95%), 出欠席(5%)					
評価基準	実技の発表では、話し方、姿勢、表情、声の大きさ、内容で5段階評価のシートを使い評価を行う。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目	パソコン演習 II (Excel/PowerPoint) インターンシップ実習 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 効果的なプレゼンテーション 2 キャリア実習発表のプレゼンテーションの意義 3 キャリア実習プレゼンテーション準備 4 中間報告 5 キャリア実習プレゼンテーション準備 6 キャリア実習報告会 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジネス表計算技法			科目コード	28051401	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	Excelの基本的な操作（データ入力、罫線・グラフの作成、関数の利用、セルの参照、判定条件、検索関数）について学び、Excel検定3級合格レベルまで引き上げることを目的とする。					
到達目標	社会人としての標準レベルの関数や図表を使いこなし、Excel3級を取得できる。					
評価項目	期末試験(95%)、出席席(5%)					
評価基準	期末試験:Excel3級に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	例題30+演習問題70でしっかり学ぶ Excel (技術評論社)					
関連科目	パソコン演習II (Excel/PowerPoint)					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1章 Excelを始める前に 2章 Excelをはじめよう 2. 3章 関数を使って計算しよう 3. 4章 見やすい表に変更しよう 4. 5章 グラフ機能でよりビジュアルに 5. 6章 ちょっと便利な関数 6. Excel検定 練習問題 7. Excel検定 模擬問題 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	情報セキュリティ概論			科目コード	28020601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2年次	前期	15	1	無
授業の概要・目的	インターネット上の「悪意ある攻撃」などから大切なデータや個人情報を守るための情報セキュリティとデータベース、ネットワークに対する問題解決を理解することを目的とする。					
到達目標	情報セキュリティ、データベース、ネットワーク、について基本的な知識を身につけ、専門用語を理解することができる。					
評価項目	期末試験(65%)、確認テスト(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト：単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験：情報セキュリティ概論に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田村 郁恵			非常勤講師		
実務経験者による授業	SEプログラマー 3年					
テキスト・参考文献	情報処理試験合格へのパスポート システム開発と情報技術(シラバス9.0対応) ウイネット					
関連科目	コンピュータシステムⅠ コンピュータシステムⅡ コンピュータシステムⅢ					
授業計画	<p>1. <1章> データベース</p> <p>第1節 データのモデル化 6</p> <p>第2節 データベース設計</p> <p>第3節 データの正規化</p> <p>第4節 SQLの基本</p> <p>第5節 SQLの応用</p> <p>第6節 データベースの演算</p> <p>第7節 データベース管理システム</p> <p>第8節 データベース応用</p> <p>2. <2章> ネットワーク</p> <p>第1節 ネットワーク方式</p> <p>第2節 OSI基本参照モデル</p> <p>第3節 TCP/IPプロトコル</p> <p>第4節 IPアドレス</p> <p>第5節 ネットワーク管理</p> <p>第6節 TCP/IPアプリケーション</p> <p>第7節 ネットワーク応用技術</p> <p>3. <3章> 情報セキュリティ</p> <p>第1節 情報セキュリティ</p> <p>第2節 システムへの攻撃手法</p> <p>第3節 暗号化技術</p> <p>第4節 認証技術</p> <p>第5節 セキュリティ技術</p> <p>第6節 セキュリティリスク</p> <p>第7節 セキュリティ管理</p>					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	経営マネジメント概論			科目コード	28071701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2年次	前期	30	2	無
授業の概要・目的	企業活動、法務、経営戦略マネジメントの各分野について広く俯瞰的に学ぶ。留学生が日本の企業に就職し、活躍するために有益な経営・法務・ビジネス知識を身につけることを目的とする。					
到達目標	企業活動、法務、経営戦略マネジメントについての基本的な知識を身につけ、専門用語を理解することができる。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト：単元別確認テストで理解をはかる。期末試験：企業活動、法務、経営戦略マネジメントの各分野について、基本的な知識・理解を網羅的に問う。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	児玉 義明			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「かやのき先生のITパスポート教室」技術評論社					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 財務諸表 2. 損益分岐点と資産管理 3. 知的財産権 4. セキュリティ関連・個人情報関連法規 5. 労働関連・取引関連法規 6. 業務分析 7. データ利活用と問題解決 8. 標準化 9. 第4次産業革命とビッグデータ 10. 企業活動 11. 企業統治と内部統制 12. 経営戦略 13. 情報システム戦略と業務プロセス 14. マーケティング戦略 15. 技術戦略 16. 業績評価と経営管理システム 17. ビジネスシステムとエンジニアリング 18. e-ビジネス 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	インターンシップ実習 I			科目コード	28072001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	実習	2年次	前期	35	1	有
授業の概要・目的	学校で学んだ専門知識を活かして、日本の企業でインターンシップ実習を経験することを目的とする。					
到達目標	日本企業で実習することにより、理論と実践の相互関係を理解し、基礎的な知識・技術力を身につける。					
評価項目	実習先評価(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目	インターンシップ実習 II					
授業計画	企業内実習					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	実習事前・事後指導 I			科目コード	28071801	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	25	1	無
授業の概要・目的	インターンシップ実習 I において、まずは日本企業で働くということはどういうことかを理解し、学内で事前学習を受け、実習の心構えや目標を学んだのちに、職場での就業体験を行う。事後指導での振り返りや成果発表によって、自己の職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択や高い職業意識の形成に繋げる。					
到達目標	実習の目的、心得、マナーについて説明し、それらを理解したうえで、実習に取り組むことができるようにする。事後指導では実習を経て得られた成果と課題を省察し、今後の課題の探究方法を明らかにしていく。					
評価項目	企業研究 (20%), 日誌 (20%), 振り返りレポート (10%), プレゼンテーション (45%), 出欠席 (5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目	インターンシップ実習 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 業界研究・企業研究 3. 事前指導 (一日の流れ、マナー等) 4. 実習の目標設定 5. 事後指導 (お礼状、お礼メール) 6. 目標に対する振り返り 7. 実習成果報告会 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	日本語能力試験Ⅲ			科目コード	28017001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	前期	45	3	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験合格を目的とする。 語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。 日本語能力試験 JLPT の試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。</p>					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験 (85%), 提出物 (10%), 出席率 (5%)					
評価基準	期末試験：対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「合格できる日本語能力試験」アルク出版					
関連科目	日本語能力試験Ⅰ 日本語能力試験Ⅱ 日本語能力試験Ⅳ 日本語能力試験Ⅴ					
授業計画	1. 言語知識(文字)(語彙)(文法) 2. 読解 3. 聴解 4. 模擬試験 5. 弱点問題答練					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジネス実務IV			科目コード	28050302	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2年次	後期	75	4	無
授業の概要・目的	日本で社会人になることを目的とし、そのために必要なビジネスマナーと、就職試験のSPIに向けた基礎学力の定着を計る。 テキストで日本のビジネスマナーを学習し、すららネット日本の中学レベル日本語、数学の習得を目指す。					
到達目標	日本で働くために必要な日本の習慣やマナーについて理解し、実践できる。 就職試験のSPIなどの学力試験に対応できる。					
評価項目	期末試験(85%)、すらら提出率(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	すららの進捗状況も評価を行う。 テキストも単元終了ごとに確認テストを行う。 期末試験はすららネットの内容とテキストの内容の両方から出題する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「ビジネスマナー基本テキスト」日本能率協会マネジメントセンター					
関連科目	ビジネス実務Ⅰ ビジネス実務Ⅱ ビジネス実務Ⅲ ビジネス実務Ⅴ ビジネス実務Ⅵ					
授業計画	第1章 ビジネスマナーの基本 第2章 社内のビジネスマナーとルール 第3章 電話のマナー 第4章 応対のマナー 第5章 ビジネス文書の基本マナー 第6章 慶弔・贈答・会食のマナー 第7章 国際ビジネスマナー					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	言語知識IIA			科目コード	28016601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2年次	後期	45	3	無
授業の概要・目的	日本語能力試験 N2 レベル相当の漢字・語彙を習得することを目的とする。 日本人と同等に就職するため、日本人高校卒業程度の漢字を身に付ける					
到達目標	I に引き続き、日本社会で働く上で必要なレベルの日本語の語彙、文法を場面や状況に合わせて表現できる。					
評価項目	期末試験(75%) 語彙テスト・確認テスト(20%) , 出欠席(5%)					
評価基準	語彙テスト・確認テスト：各授業で行われ語彙テストと確認テストで理解をはかる。 期末試験：N2 レベルの語彙・文法を問うような科目試験を行なう。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	高橋 真実			非常勤講師		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「TRY! 日本語能力試験 文法から伸ばす日本語 N2」ABK アジア学生文化協会 「改訂版 耳から覚える日本語能力試験 語彙トレーニング N2」アルク出版					
関連科目	言語基礎 I A II A 言語基礎 I B II B 言語知識 I A I B 言語知識 II B					
授業計画	Unit1 名詞 A N2 レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit2 動詞 A N2 レベルの基本的な動詞の意味が分かる Unit3 形容詞 A N2 レベルの基本的な形容詞の意味が分かる Unit4 名詞 B① N2 レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit4 名詞 B② N2 レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit5 カタカナ A N2 レベルの基本的なカタカナの意味が分かる Unit6 副詞 A+接続詞 N2 レベルの基本的な福祉・接続詞の意味が分かる Unit7 名詞 C N2 レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit8 動詞 B N2 レベルの基本的な動詞の意味が分かる Unit9 カタカナ B N2 レベルの基本的なカタカナの意味が分かる Unit10 形容詞 B N2 レベルの基本的な形容詞の意味が分かる Unit11 名詞 D N2 レベルの基本的な名詞の意味が分かる Unit12 動詞 C N2 レベルの基本的な動詞の意味が分かる Unit13 副詞 B+連体詞 N2 レベルの基本的な副詞・連体詞の意味が分かる					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	言語知識ⅡB			科目コード	28016701	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	講義	2年次	後期	50	3	無
授業の概要・目的	日本語能力試験 JLPTN2 取得に向けさまざまな話題の長文を読み、文章表現などを理解しながら読解を行う。同時に、感想・意見をまとめ、話す・書くアウトプットを通じた、日本語力の定着を目的とする。またトピックの背景となる素養・語彙も増やし、コミュニケーションができるようになることを期待する。					
到達目標	Ⅰに引き続き、様々なトピックの読解問題を通し、グループワークで文章読解力と日本語でのコミュニケーション力を身につける。					
評価項目	期末試験(75%), 確認テスト(20%), 出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：テキストの読解問題から出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	新完全マスター読解N2					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 言語知識ⅠA ⅠB 言語知識ⅡB					
授業計画	<p>実力養成編 第2部 広告・お知らせ・説明書きなど</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体をつかむ 2. 情報を探し出す <ol style="list-style-type: none"> 1) 広告 2) お知らせ 3) 説明書き 4) 表・リスト 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジネス文書演習Ⅱ			科目コード	28072501	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	後期	45	3	無
授業の概要・目的	日本で就職する上で必要な文章力、表現力、会話力身につける。敬語の意味や使い方を学びながら実際の日本のビジネス社会に必要な文章や会話で表現できるようにする。文書検定（4級・3級）の合格を目標とする。また、日本人学科の学生との交流授業で、日本語を理解し、自分の意見や考えを日本語で伝え、グループで発表できるようにする。					
到達目標	Ⅰに引き続き、日本でのビジネスに必要な基本的な知識を身につける。敬語の意味や使い方を学習しながら、実際の会話で使う練習をする。日本人学科との合同授業において、指定のテーマについてグループワークで意見交換を行って文書を作成し、発表する。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：文書検定4級・3級レベルの問題より出題し、その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	難波 芳子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	基礎から学べる！文章カステップ文章検3級対応 基礎から学べる！文章カステップ 文章検3級対応 公益財団法人 日本漢字能力検定協会					
関連科目	言語基礎ⅠAⅡA 言語基礎ⅠBⅡB 通訳ⅠⅡ 言語知識ⅠAⅡA 言語知識ⅠBⅡB ビジネス文書演習Ⅰ 実践ビジネスコミュニケーションⅠⅡ					
授業計画	1 文章検公式テキスト3級 第1章基礎力（語彙・文法） 2 第2章読解力（資料分析等） 3 第3章作成力（1）（書く力） 4 第4章作成力（2）伝える力 5 第5章作成力（3）考える力					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	Java プログラミング演習 I			科目コード	28021601	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	基礎的な文法、考え方を身につけ Java プログラミング能力認定試験 3 級を取得することを目的とする。					
到達目標	サーティファイ主催「Java プログラミング能力認定試験 3 級」に合格できる力を養う。また、各自でプログラムが組めるよう技術を身につける。					
評価項目	期末試験 (65%)、確認テスト (30%)、出欠席 (5%)					
評価基準	確認テスト：単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験：Java 3 級に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。 ※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	若林 潤一			非常勤講師		
実務経験者による授業	県内システム会社勤務を経て WEB サービス会社の社長 C00 として従事した後独立。Web システムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。					
テキスト・参考文献	スッキリわかる Java 入門 第4版 インプレス スッキリわかる Java 入門 実践編 第4版 インプレス					
関連科目	Java プログラミング演習 II C 言語プログラミング演習 II					
授業計画	<p>●第 I 部 ようこそ Java の世界へ</p> <p>chapter 1 プログラムの書き方</p> <p>chapter 2 式と演算子</p> <p>chapter 3 条件分岐と繰り返し</p> <p>chapter 4 配列</p> <p>chapter 5 メソッド</p> <p>chapter 6 複数クラスを用いた開発</p> <p>●第 II 部 スッキリ納得 オブジェクト指向</p> <p>chapter 7 オブジェクト指向をはじめよう</p> <p>chapter 8 インスタンスとクラス</p> <p>chapter 9 さまざまなクラス機構</p> <p>chapter 10 継承</p> <p>chapter 11 高度な継承</p> <p>chapter 12 多態性</p> <p>chapter 13 カプセル化</p> <p>●第 III 部 もっと便利に API 活用術</p> <p>chapter 14 Java を支えるクラスたち</p> <p>chapter 15 文字列と日付の扱い</p> <p>chapter 16 コレクション</p> <p>chapter 17 例外</p> <p>chapter 18 まだまだ広がる Java の世界</p>					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジネス英語 II			科目コード	28072301	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	後期	30	2	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中で、企業において外国人の採用が積極的に行われている。日本で日本人と一緒に勤務する上では日本語コミュニケーション力が必要であるが、海外展開をしていく上では、共通語である英語コミュニケーション力の向上を目指すことを目的とする。					
到達目標	科学・技術・工学・芸術・数学（STEAM）に関する話題を扱った30秒程度のCNNニュースを題材として、身近な問題を英語で考える。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	<p>確認テスト：単元ごとの単語テストを行う。</p> <p>提出物：決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。</p> <p>期末試験：単元ごとの翻訳、まとめ問題、単語等の科目試験を行う。その試験結果により判定し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	難波 芳子			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	大学生のためのCNNニュース・リスニング STEAM 教育編 川崎和基 朝日出版社					
関連科目	ビジネス英語 I					
授業計画	<p>1 Unit1 A Robot That Can Do Backflips Technology/Engineering</p> <p>2 Unit2 Bring Back the Mammoth Science/Technology</p> <p>3 Unit3 High-Tech Implants for the Brain Technology/Engineering</p> <p>4 Unit4 Unique Bridge in Vietnam Technology/Engineering</p> <p>5 Unit5 On the Hunt with Pokemon Go Technology/Engineering</p> <p>6 Unit6 Beetle Gives Hints on Toughness Science/Engineering/Technology</p> <p>7 Unit7 Successful Test of Fling Car Technology/Engineering/Arts</p> <p>8 Unit8 Quadriplegic Uses Brain Tech to Walk Science/Technology/Engineering/Arts</p> <p>9 Unit9 Google Maps Gets Ecofriendly Technology/Engineering</p> <p>10 Unit10 Stone Age Musical Instrument Science/Technology/Engineering/Arts</p> <p>11 Unit11 Concerts Staged by Hologram Technology/Engineering/Arts</p> <p>12 Unit12 A Selfie in Your Coffee Technology/Engineering/Arts</p> <p>13 Unit13 World's Largest Water Gun Technology/Engineering/Arts</p> <p>14 Unit14 FDA Approves 3D-Printed Pill Science/Technology/Engineering</p> <p>15 Unit15 USA Beats Japan in Robot Fight Technology/Engineering/Arts</p> <p>16 まとめ Unit1~Unit15 まとめ</p>					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	Web サイト制作演習III (HTML, CSS)			科目コード	28072201	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	後期	45	3	無
授業の概要・目的	Webアプリケーションのフロントエンド部分の開発を行うために必要不可欠なHTMLとCSSの技術について学習し、複数ページに渡るWebサイトを個人の力で作れることを目的とする。					
到達目標	ブラウザを利用して、パソコン・タブレット・スマホ等の様々な環境で閲覧できるWebページを自分で構築し、インターネットに公開できるようになる。日本人学科の学生との合同授業の中で、日本人学生と協働してホームページの作成を行う。					
評価項目	期末試験(70%)、制作物(20%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)					
評価基準	<p>制作物：Web ページを作成しプレゼンテーションを行いアウトプットする。その表現結果により評価する。</p> <p>期末試験：HTML+CSSの全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。</p> <p>※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。</p>					
担当教員	田村 郁恵			非常勤講師		
実務経験者による授業	SEプログラマー 3年					
テキスト・参考文献	30時間でマスター Webデザイン 改訂版 (実務教育出版株式会社)					
関連科目	Web サイト制作演習 I Web サイト制作演習 II					
授業計画	<p>3章 CSSの基礎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CSSの基本 2. 文字要素のCSS 3. 背景の指定 4. ボックスモデル 5. Webページのレイアウト <p>4章 Webサイトの制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Webサイトの企画 2. HTMLのマークアップ 3. トップページデザイン 4. 問い合わせページ 5. レスポンシブデザイン <p>※合同制作(日本人学生と合同制作)</p>					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	システム制御演習 II			科目コード	28022001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	企業においては、製造部門ではシーケンス制御装置が多用されており、設計・開発部門では、CAD や CAE など支援ツールを活用して製品開発を行う場面が多くなってきている。本講義では、機械制御の実際と実機を利用して工場の制御システム及び PLC 言語の基礎を学習する。					
到達目標	三菱メルウェアラダーソフトを使用し、ラダー言語のプログラミング技術を修得する。					
評価項目	期末試験 (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	玉置 順一			非常勤講師		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. シーケンス制御の基礎 2. シーケンス制御の基礎 3. シーケンス制御の基礎 4. シーケンス制御の基礎 5. シーケンス制御の基礎 6. ラダー言語演習 7. ラダー言語演習 8. ラダー言語演習 					

国際 IT システム学科 2025 年度

科目名	インターンシップ実習 II			科目コード	28072101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	実習	2 年次	後期	70	2	有
授業の概要・目的	学校で学んだ専門知識を活かして、専門分野でのインターンシップ実習を経験することを目的とする。					
到達目標	日本の企業の IT 分野またはビジネス分野で OJT による社会人経験を積む。主体的な学習を通し、企業で求められるスキルに対してコミットできる力を身につける。					
評価項目	実習先からの評価 (95%)、出欠席 (5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目	実習事前・事後指導 II					
授業計画	企業内実習					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	実習事前・事後指導II			科目コード	28071901	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	後期	20	1	無
授業の概要・目的	インターンシップ実習IIにおいて専門的な分野での実習の目的や学びを理解し、学内で事前学習を受け、実習の心構えや目標を学んだのちに、職場での就業体験を行う。事後指導での振り返りや成果発表によって、自己の職業適性や将来設計について考える機会とし、主体的な職業選択や高い職業意識の形成に繋げる。					
到達目標	インターンシップIIの目的、心得、マナーについて説明し、それらを理解したうえで、実習に取り組むことができるようにする。事後指導では実習を経て得られた成果と課題を省察し、今後の課題の探究方法を明らかにしていく。					
評価項目	企業研究 (20%) 日誌 (20%) 振り返りレポート (10%) プレゼンテーション (45%) 出欠席 (5%)					
評価基準	※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	なし					
関連科目	インターンシップII					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 業界研究・企業研究 3. 事前指導 (一日の流れ、マナー等) 4. 実習の目標設定 5. 事後指導 (お礼状、お礼メール) 6. 目標に対する振り返り 7. 実習成果報告会 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	日本語能力試験Ⅳ			科目コード	28017101	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
必修	演習	2年次	後期	50	3	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験合格を目的とする。 語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。 日本語能力試験 JLPT の試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。</p>					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験 (85%) 提出物 (10%) 出席率 (5%)					
評価基準	期末試験：対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	「合格できる日本語能力試験」アルク出版					
関連科目	日本語能力試験Ⅰ 日本語能力試験Ⅱ 日本語能力試験Ⅲ 日本語能力試験Ⅴ					
授業計画	1. 言語知識(文字)(語彙)(文法) 2. 読解 3. 聴解 4. 模擬試験 5. 弱点問題答練					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ペン字上級			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	日常生活に役立つ行書（美しいつづけ字）を学ぶ。 行書のルールを覚え、一筆箋、封筒、年賀状、のし袋（筆ペン）を書いてみる。					
到達目標	書き込み式のテキストを使用。行書のポイント、ルールの解説。 反復練習したものを個別指導により上達をはかる。 日常生活に役立つ課題で、楽しく学び続けることを期待する。					
評価項目	一筆箋(50%)、封筒(10%)、ハガキ表(10%)、ハガキ裏(10%)、のし袋（筆ペン）(10%)、 出欠席(5%)、感想(5%)					
評価基準	※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	三宅 佳与			非常勤講師		
実務経験者による授業	書塾で教鞭をとり30年 現在は学校教員の指導講座ももつ					
テキスト・参考文献	大人字にかわる ペン字練習帳（新星出版社）					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美しい行書のルール 2. 漢字の正しいくずし方（部首別） 3. ひらがなのリズム 4. ひらがなの連綿（つづけ方） 5. 封筒、ハガキの表書き 6. はがきの裏（年賀状、暑中見舞い、メッセージカード） 7. 一筆箋 8. のし袋（筆ペン） 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジネス英語			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中、企業内の標準言語が英語になるなど、ビジネスにおいて英語を使う機会が増えている。ビジネスの場で、簡単な英語が話せる力や、メール文章を書く能力を身に付けることを目的としている。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、依頼表現、電話取次を簡単な表現で出来るようになる。 ・メールで頻出の表現を使えるようになる 					
評価項目	期末試験(90%)、授業態度(5%)、出席率(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	佐藤 眞佐子			非常勤講師		
実務経験者による授業	民放局アナウンサー8年。全国各地で高校生に英語英会話指導20年以上。英語スピーチコンテスト等での日英司会、トーストマスターズクラブでの日英スピーチ中四国大会優勝、全国大会ファイナリスト。日本ソムリエ協会認定ワインエキスパート資格を活かし、仏・豪ワイナリー訪問多数。トーストマスターズクラブやワイナリー訪問を通じた異文化コミュニケーション経験も豊富。					
テキスト・参考文献	キクタン英会話（オフィス編）					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本フレーズ 2. 基本フレーズ 3. あいさつ 4. 始業前 5. 日常業務 6. 備品・機器 7. 休憩 8. 来客・面会 9. 電話 10. 会議 11. 予定 12. アフター5 13. ロールプレイ演習 14. ロールプレイ演習 15. 電子メール 16. 試験対策・重要表現 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	エクセル上級			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	Excel のスキルをあらゆるビジネスシーンで活用できるように、基礎知識から応用まで幅広く学び、PCスキルを社会で活かせる人材育成を目的とする。					
到達目標	関数を使った集計や分析、ピボットテーブルやマクロなど Excel の機能を活かした資料作成能力を身に着ける					
評価項目	期末考査(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	近藤 敬輔			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Excel 基礎知識の確認 2. Excel 基礎知識の復習 3. ショートカットキーの活用 4. 関数の活用 (vlookup. sumif) 5. 機能の紹介(マクロ・ピボットテーブル) 6. 練習問題 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	医療事務			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	医療機関の役割、医療保険制度の仕組みを知り、簡単な医療費の計算方法を習得する。					
到達目標	医療保険制度の仕組みを理解する。 医療事務の業務内容を理解する。 簡単な医療費の計算を習得する。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題から出題。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	矢ヶ崎 忍			常勤		
実務経験者による授業	医療機関にて約8年間、7医事課に所属し各外来・入院受付、会計、診療報酬請求業務、クラーク業務を担当					
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関の概要 2. 医療機関の仕事 3. 医療費の計算 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	RPA 実習			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	作業自動化ツールである RPA(Robot Process Automation)の構築を題材に、プログラムの思考力を養う。					
到達目標	事務作業の分析を行い、Power Automate Desktop に手順を登録して、実際に作業の自動化を行えるまでのスキルをつける。					
評価項目	レポート (90%)、授業態度 (5%)、出欠席 (5%)					
評価基準	※出席率が 80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	田中 優平			常勤		
実務経験者による授業	工場の監視・制御系システムの SE・PG として従事。その経験を活かし、グループでの活動も交えながら、社会人として組織での活動に活かせるよう講義する。					
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境準備 業務自動化のメリットを考える 2. レコーダ機能を使ったフロー作成 3. EXCEL 作業を自動化 4. Web フォームへの自動化 5. 業務シーン別のテクニック理解 6. 自動化業務の作成、発表 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	情報リテラシー			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	業務で役立つ Windows の便利な機能や、社会に出てから必要となるセキュリティ知識や AI の活用方法などについて学ぶ。					
到達目標	社会人になるにあたり教養、たしなみ、判断力、理解力等を身につける。					
評価項目	期末考査(90%)、授業態度(5%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤井 克俊、岡本 和也、近藤 進介			常勤		
実務経験者による授業	システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生が社会人として相応しい知識、マナーを理解できるように講義する。					
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	1. Winidows の操作 2. 情報セキュリティ 3. AI の活用					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	データマーケティング			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	データを根拠に考え、新しいアイデアを考案するための方策を学ぶ。Excel を活用した分析手法についても修得する。					
到達目標	データを基に読み込んだ情報についてまとめて発表することができる。					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	小林 聖治、田中 光			常勤		
実務経験者による授業	実務経験：印刷会社にて企画営業として、企画提案、プレゼン、ディレクション業務をおこなってきた経験を活かし、実務に則した指導をおこなう。					
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	1. オリテ 2. ビッグデータとは 3. データの活用 4. グラフの作成 5. その他データの活用と各業界の関連 6. マーケティングの基礎・活用					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ファイナンシャルプランナー			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	身近なお金の知識やこれから必要になるお金の知識を学ぶ。投資など資産運用について基本的な知識を身につける。					
到達目標	学んだ知識を第三者に伝えることができる。用語が理解できる。					
評価項目	期末試験（95%）、出欠席（5%）					
評価基準	期末試験：各単元の確認問題などから出題 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	藤野 流光			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント対応					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライフプラン 2. リスクマネジメント 3. 金融資産 4. タックスプランニング 5. 不動産 6. 相続 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	一般知能			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	数的推理・判断推理を論理的な思考から、解答する力を答練を通じて身につける。					
到達目標	いくつかの条件を整理して、答えを導き出していくという論理的思考力を身につけることが目標である。					
評価項目	期末試験(60%)、確認テスト(35%)、出席率(5%)					
評価基準	確認テスト：各授業で行われる単元別確認テストで理解度をはかる。期末試験：数的処理能力を問う科目試験を行う。その試験結果により判定し、評価する。 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	武下 浩史			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 暗号 2. 速さ 3. 図形問題 4. 対応関係 5. 食塩水 6. 勝敗 7. うそつき 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	フラワーアレンジメント			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	フラワーデザインの基本的な知識を習得し、形や構成からテーマを表現する。					
到達目標	花への興味を深め、毎回デザインの構成理論を踏まえた上で作品を構成し植物の知識を身につける。					
評価項目	作品(90%)、授業態度(5%)、出席率(5%)					
評価基準	※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	永宗 教子			非常勤講師		
実務経験者による授業	フラワーアレンジメント実務30年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 植物の扱い方 2. 吸水フォーム 3. テーブルアレンジ 4. 復習 5. ブートニア 6. ミニブーケ 7. リース 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ゲームプログラミング			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	ゲームプログラミングを通じて論理的思考法を身に付ける					
到達目標	一見難しいプログラミングなども諦めずコツコツと積み上げていくことで完了させられることを体感する。					
評価項目	課題提出(95%) 出席率(5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	宇野 光司			常勤		
実務経験者による授業	通販、介護、銀行等のシステム開発経験を活かし、学生が情報処理に関する基礎的知識を習得できるよう、講義を行う。					
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Unity の概要 2. プログラミングとアルゴリズム 3. プログラミング環境構築 4. プログラミング実習 5. プログラミング改変 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	広告映像			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	会社の広報 SNS などに必要な写真の撮影、および動画制作を通して、情報や魅力をわかりやすく伝える力を身につける。					
到達目標	効果的な動画構成を理解して制作できるようになる。					
評価項目	課題提出(95%) 出席率(5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	赤木 沙英子			常勤		
実務経験者による授業	CM企画・制作11年 ディレクター9年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動画制作の基本的な考え方 2. 動画制作の基本操作、 3. 課題：ドラマカット① 4. 課題：ドラマカット② 5. 課題：クラス動画 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	ビジュアルデザイン			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	デザインアプリ Figma を使用。商業デザインの制作を通して、レイアウト、表現技法を学ぶ。					
到達目標	情報を適切に伝えるための視覚表現力を身につける。					
評価項目	課題提出(95%)、出席率(5%)					
評価基準	各授業の課題により評価 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	太田 真行			常勤		
実務経験者による授業	広告ディレクター：3年					
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 商業デザインの基本的な考え方 2. デザインアプリの基本操作 3. 課題：名刺 4. 課題：チラシ 5. 課題：ポスター 					

国際ITシステム学科 2025年度

科目名	世界情勢			科目コード	28090001	
区分		開講時期		時間数	単位数	企業連携
選択必修	演習	2年次	後期	15	1	無
授業の概要・目的	自国の習慣や考えだけにとらわれることなく、他国の習慣・文化に共感し、異文化間での協力関係を構築する素地を身に付ける					
到達目標	ワークショップの中で異文化を理解・共感する姿勢を身につけ、世界の問題を自分ごととしてとらえられる力を養いながら、自身の意見をもちそれを発信できるようになる。					
評価項目	期末レポート(45%)、発表(50%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末レポートと発表により総合的に評価 ※出席率が80%未満の場合は、評価対象としない。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント					
関連科目						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の人口 2. 世界の言葉で「こんにちは」 3. 文字が読めないということ 4. 富を多く持っているのは誰？ 					